

平成23年7月  
新潟・福島豪雨  
災害の記録

～三条地域の農作物、農地・農業用施設の被害と復旧～



【表紙写真】

濁流の五十嵐川に建つ五十嵐川下流部頭首工（三条市籠場）  
平成23年7月29日13時頃撮影（提供：三条土地改良区）

## はじめに

平成23年7月、新潟県は中越・魚沼地域を中心に大きな豪雨災害に見舞われ、三条地域振興局管内においても多大な被害を受けました。

三条市下田地区の国土交通省笠堀雨量観測所では降り始めから7月30日までの4日間で1,006mmと、7月の月平均降雨量369mmの2倍を大きく上回る累加雨量（県内最大値）が観測されました。

これにより、管内を流れる河川は一級河川五十嵐川などで堤防の決壊が相次ぎ、三条市を中心に住民の生活を支える道路などの公共土木施設で被害を受けたほか、広範囲で床上・床下浸水が発生、特に同市下田地区では大規模な斜面崩壊・土砂災害（土石流）が起こり、農作物や農地・農業用施設においても管内各所で果樹等の冠水、汚水や汚泥の堆積による枯死、農地への土砂の流入、用排水路や頭首工、用排水機場等の損壊・埋没など甚大な被害が生じました。

三条地域振興局農業振興部では、災害発生直後から三条市をはじめ関係機関と密接に連携して、被災状況の把握や応急対応など初動対応に努めるとともに、被災農家への営農支援や被災した農地・農業用施設の早期復旧に取り組んできました。

これまでのご支援、ご協力に対し、この場を借りまして厚くお礼申し上げます。

この記録誌は、三条地域において「我々はこの時、このように行動し、未曾有の豪雨災害に対処した」ということを記録として残し、将来再び起こるであろう災害において関係職員がより適切な行動を取れるようにとの認識のもと、作成いたしました。

平成23年7月新潟・福島豪雨災害の復旧復興はまだ道半ばではありますが、この記録誌がこの災害を教訓として今後の初動対応の在り方、早期の復旧復興方策を考える上で役立てられれば幸いです。

平成25年3月

三条地域振興局農業振興部

部長 宮 里 圭 一

# 目 次

## I 豪雨の概況と被害の概要

1 気象と降雨時の状況	1
2 農作物の被害状況	7
3 農業施設の被害状況	10
4 農地・農業用施設の被害状況	11

## II 農作物被害への対応と課題

1 被害対応（全域）	20
2 下田地区営農支援	31
3 対応における反省点	35
4 水害への備え	36

## III 農地・農業用施設被災への対応と課題

1 災害復旧対応への支援	39
2 復旧・復興の状況	41
3 反省点と今後の課題	45
4 水害への備え	46

## IV 資料編

### 豪雨の概況と被害の概要

- 1 指定観測所の水位状況 . . . . . 4 9
- 2 刈谷田川右岸排水機場 出水記録の比較 (H16. 7 と H23. 7) . . . . . 5 2
- 3 平成 23 年 7 月 30 日 刈谷田川右岸排水機場 水位状況 . . . . . 5 4

### 農作物被害への対応と課題

- 1 「平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨」に伴う営農支援に向けた行動表  
(全体) . . . . . 5 5
- 2 平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨 三条地域農作物技術対策本部設置要領 . 5 7
- 3 降雨後の野菜の管理について . . . . . 5 8
- 4 平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨に伴う果樹の技術対策  
(専門技術指導担当) . . . . . 6 0
- 5 平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨に伴う果樹の技術対策 (振興局) . . . 6 3
- 6 下田地区集落別聞き取り調査における意見・要望等について(抜粋) . 6 5
- 7 集落における今後の営農の方向性に関する意向調査票 . . . . . 6 6
- 8 下田地区「集落における今後の営農の方向性に関する意向調査」結果 . 6 8
- 9 「平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨」において信濃川から果樹園に流入  
・堆積した泥の特性と土壌管理対策 . . . . . 6 9
- 10 平成 2 4 年度 農業災害時における活動体制 . . . . . 7 0
- 11 下田地区遅植え稲作技術情報 . . . . . 7 1
- 12 「平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨」に係る災害対応等への意見・要望  
について . . . . . 7 6

### 農地・農業用施設被災への対応と課題

- 1 初動時の動き . . . . . 7 7
- 2 7. 1 3 水害との被害の比較 . . . . . 7 9
- 3 平成 2 3 年 7 月新潟・福島豪雨災害 (三条地域) 復旧復興通信 . . . 8 0
- 4 災害対応時の装備 . . . . . 9 0

### 共通事項

- 1 庶務課の災害発生中及び直後の行動と災害に伴う経常業務 . . . . . 9 1
- 2 三条地域振興局 災害対策本部 (H23. 7. 29~9. 5) . . . . . 9 3
- 3 組織 . . . . . 9 3
- 4 関係機関 . . . . . 9 4
- 5 新聞記事 . . . . . 9 6
- 6 管内の主な水害の歴史 . . . . . 1 0 0

# I 豪雨の概況と被害の概要

## 1 気象と降雨時の状況

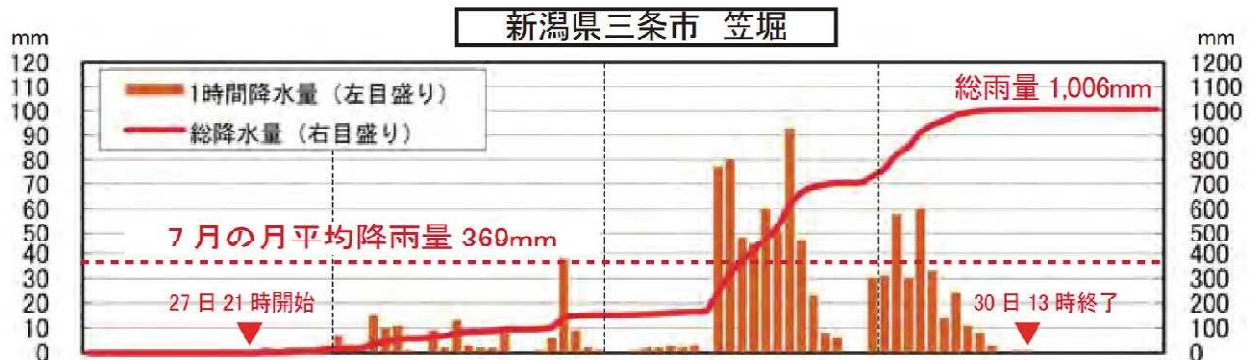
### (1) 気象状況・降雨量の推移

#### ア 新潟県の状況

平成23年7月26日未明より朝鮮半島から関東の東にかけて停滞した前線に、南の暖かい湿った空気が流れ込み、前線が活発化した。この前線は27日夕方から30日朝にかけて狭い範囲で移動・停滞を繰り返し、前線が停滞した信濃川、阿賀野川流域では長時間に渡り強い雨が降り続いた。

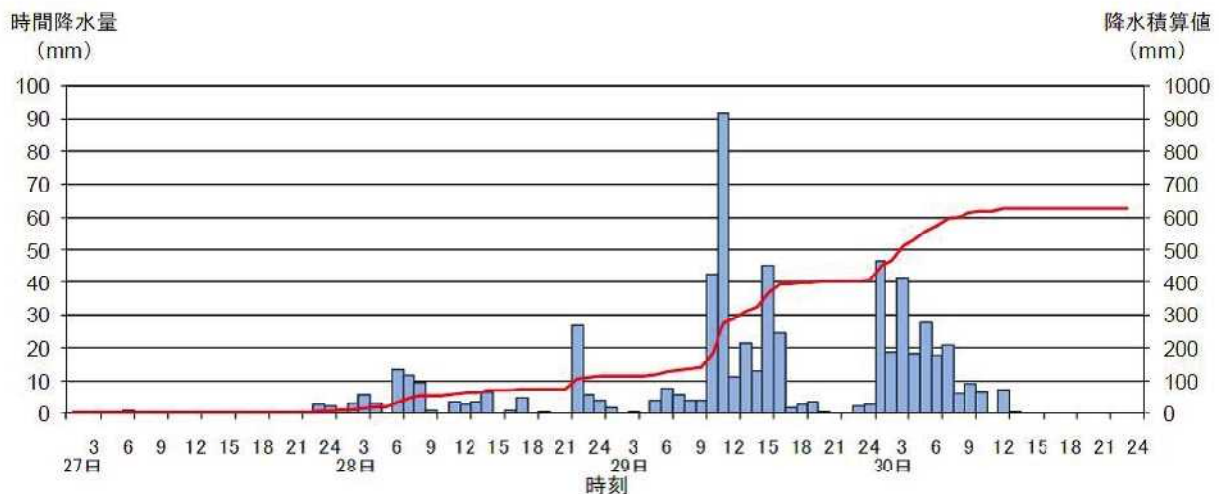
#### イ 三条地域振興局管内の状況

三条市下田地区の笠堀雨量観測所（国土交通省）では、27日から30日までに1,006mmの累加雨量を観測し、これは7月の月平均降雨量の2倍以上に相当し、平成16年に発生した新潟・福島豪雨災害の観測記録を上回るものであった。



(出典)「平成23年7月新潟・福島豪雨新潟県内の河川災害速報」北陸地方整備局河川部・新潟県土木部

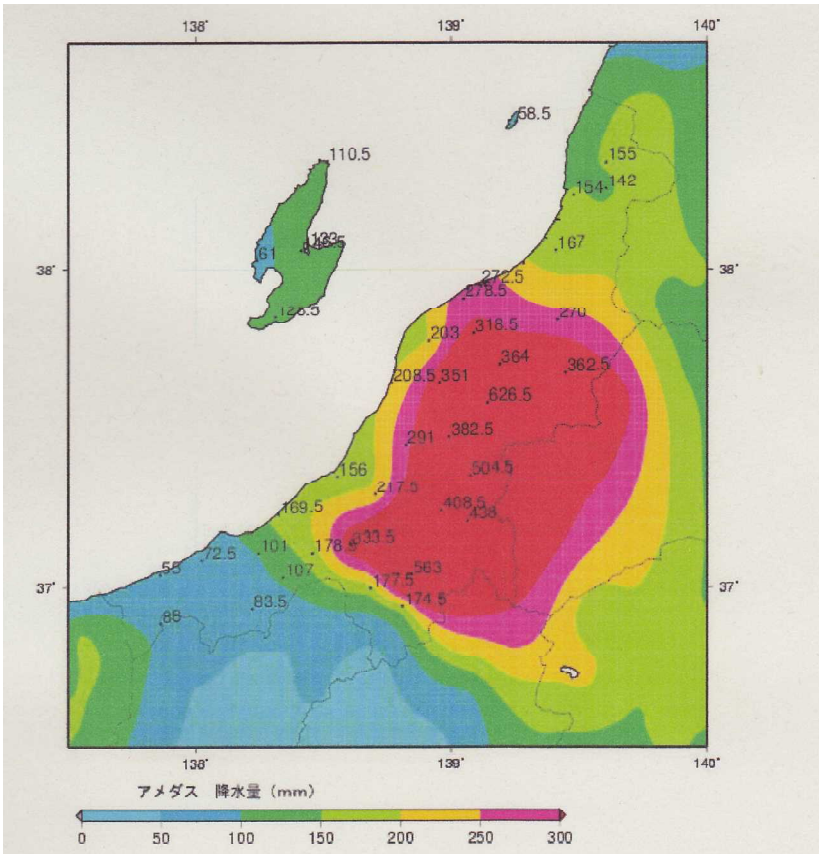
また、加茂市宮寄上では同期間中の降雨量が626.5mmに達し、29日には1時間91mmの猛烈な雨が記録された。



加茂市宮寄上：7月27日00時～7月30日24時

(出典)「平成23年7月27日から7月30日の大雨に関する新潟県気象速報」新潟地方気象台

降水量分布図（7月27日00時～7月30日24時）



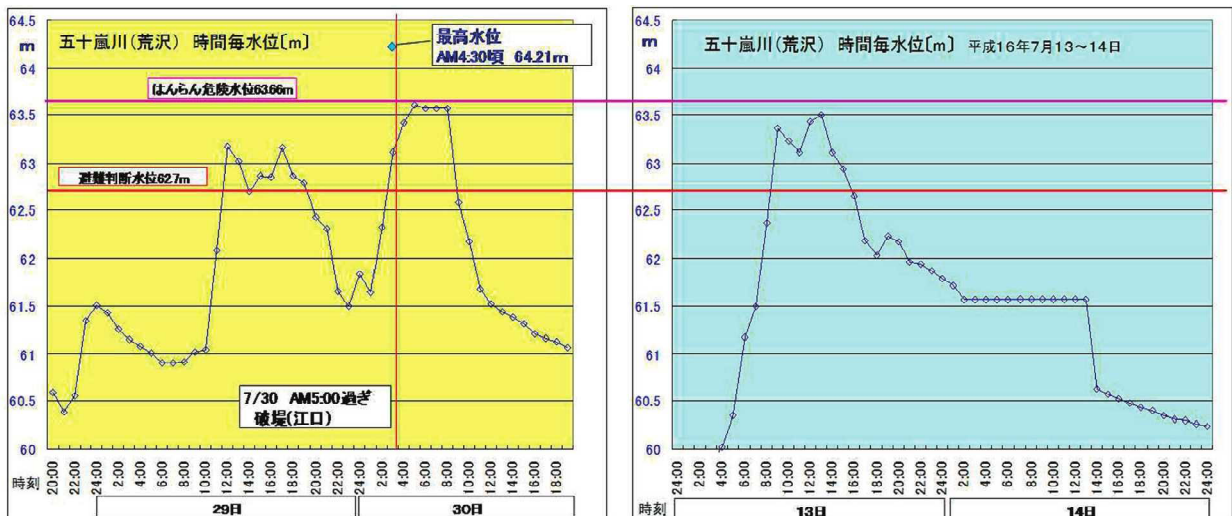
（出典）「平成23年7月27日から7月30日の大雨に関する新潟県気象速報」  
新潟地方気象台

（2）河川の増水等の状況

今回の豪雨により、信濃川本川、支川の五十嵐川、刈谷田川等の水位観測所で既往の最大流量を観測した。氾濫危険水位（レベル4水位）を超過した河川が、国管理河川で3河川6観測所、県管理河川では五十嵐川、加茂川など14河川17観測所に及んだ。

下記の左のグラフは、今回の豪雨の信濃川支川五十嵐川の荒沢水位観測所の観測記録である。右の平成16年7月豪雨の観測記録と対比してみると今回は河川増水が2回現れ、より高水位で長時間に及んでいる特徴がうかがえる。

（出典）新潟県河川防災情報システム



【IV 資料編 参照】 指定観測所の水位状況：P49

### (3) 刈谷田川右岸排水機場のポンプ運転状況と緊急対応

7月28日、三条地域に大雨洪水警報が発表され、県が管理する刈谷田川右岸排水機場では、5台ある排水ポンプのうち1～2台を稼働させた。しかし、29日11時に排水機場で1時間当たり26mmの降雨を観測し、14時48分から5台フル運転で対応した。

7月29日～31日までの排水量は1,473万トンに達し、これは平成22年7月1か月間の85倍、また、平成22年1年間分の排水量1,167万トンをも上回る量であった。



【水位が上昇した刈谷田川右岸排水機場】



【土のう積み作業(7月30日6時30分～10時15分)】

#### 【IV 資料編 参照】

刈谷田川右岸排水機場 出水記録の比較 (H16.7とH23.7) : P52

雨は一時小康状態となったが、30日未明からの短時間豪雨により、排水路の水位が上がり排水ポンプに支障をきたす恐れあったことから、朝6時30分から刈谷田川土地改良区及び三条地域振興局農業振興部職員、地域の消防団を中心に、土のう積み作業を行い、排水機場への浸水を防いだ。

(4) 被災状況と避難指示

ア 災害対策本部設置・避難勧告・指示

(7) 三条市

7月29日

13時25分 三条市災害対策本部設置  
嵐北、嵐南、井栗、本成寺、大崎、下田に非難準備情報発令

14時45分 下田現地対策本部設置

15時20分 市内全域に避難準備情報発令  
小外谷、曲谷、新屋に避難勧告発令

15時40分 大島地区、栄地区を除く市内全域に避難勧告発令

18時10分 市内全域に避難勧告を発令

7月30日

5時30分 下田地区全域に避難指示を発令

15時10分 下田地区を除く市内全域の避難勧告を解除

7月31日

10時25分 下田地区現地対策本部を解散、同地区全域の避難指示を解除  
災害対策本部を復旧対策本部に移行

(イ) 加茂市

7月29日

10時10分 豪雨災害対策本部設置、2世帯に避難勧告発令

7月30日

9時00分 149世帯に避難指示発令

11時10分 1,503世帯に避難準備情報発令

16時35分 避難勧告・避難指示を解除

(ウ) 燕市

7月29日

18時00分 燕市災害警戒本部設置

19時49分 482世帯に避難準備情報発令

7月30日

8時31分 2世帯に避難指示発令

17時00分 避難指示解除

(エ) 田上町

7月29日

18時00分 避難勧告発令

19時30分 298世帯1,204人に避難指示発令

7月30日

7時00分 田上町災害対策本部設置

20時00分 避難指示解除

(オ) 三条地域振興局

7月29日

13時25分 災害対策本部設置（9月5日までに本部会議を20回開催）

イ 人的・建物被害の状況

三条市で25歳男性が行方不明となり、後に下流河川で発見され死亡を確認。また田上町では64歳男性が田の様子を見に行ったまま行方不明となり、8月1日に発見され、死亡が確認された。

県及び関係市町村の被害状況

		県全体	三条市	加茂市	燕市	見附市	長岡市	田上町
人的被害	死者	4	1					1
	行方不明者	1						
	重傷者	2						
	軽症者	11	2			1	2	
住家被害	全壊	41	10	2		2	4	
	半壊	805	400	1		3	36	
	一部損壊	32		3	2	2	2	
	床上浸水	1,004	13	8		52	198	15
	床下浸水	7,624	1,523	130	70	408	1,952	38
非住家	公共建物	86	34			1		
	その他	5,739	2,003	152	40	253	969	116

(出典) 新潟県豪雨災害対策本部統括調整グループ H24.7.25 13時

「平成23年7月新潟・福島豪雨による被害状況について(速報第34報)」



国道289号 三条市興野2丁目付近 H23.7.29 13時

## ウ 相談会の開催

被災者の相談に応ずるため、次のとおり相談会が開催された。

### (ア) 三条市主催

- 8月31日（水） 19:00～20:30 会場：森町小学校
- 9月1日（木） 19:00～20:30 会場：ウェルネスしただ
- 9月2日（金） 19:00～20:30 会場：長沢小学校
- 9月6日（火） 19:00～20:30 会場：東公民館
- 9月7日（水） 19:00～20:30 会場：大島小学校
- 9月8日（木） 19:00～20:30 会場：島田会館
- 9月9日（金） 19:00～20:30 会場：大崎公民館保内分館

### (イ) 特別総合行政相談所

- 9月27日（火） 13:00～17:00 会場：三条市役所

## エ 法適用

### (ア) 被災者生活再建支援法の適用

多数の住宅被害が生じたため、7月28日に三条市、加茂市、見附市に被災者生活再建支援法が適用された。

（出典）H24. 7. 25新潟県豪雨災害対策本部統括調整グループ「平成23年7月新潟・福島豪雨による被害状況について」

### (イ) 災害救助法の適用

多数の住民が生命又は身体に危害を受ける恐れが生じ、避難して継続的に救助が必要となったことから、7月29日に三条市、加茂市、見附市、田上町に災害救助法が適用された。

（出典）H23. 7. 30防災企画課「新潟県報道資料」

### (ウ) 激甚災害の指定

政府は、8月19日の閣議で「激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律」に基づき、激甚災害（全国を対象とする本激）に指定し、併せて当該災害に適用すべき措置を指定する政令を決定した。

農地等の災害復旧事業費としては、本激B基準となり、農地、農道や水路などの農業用施設及び林道の災害復旧事業等について、「農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律」に基づく通常の国庫補助のかさ上げを行うこととされた。

（出典）H23. 8. 19内閣府（防災担当）「平成二十三年七月二十四日から八月一日までの間の豪雨による災害についての激甚災害及びこれに対し適用すべき措置の指定に関する政令」について